2026. 7. 22

【日本貿易統計（26 年 6 月）】

輸出、円安もあり 10 ヵ月連続プラス

～半導体等電子部品の好調など、先行きは当面、堅調な推移を予想～

経済調査部　主席研究員
藤田　敬史

ポイント

- **財務省の 6 月貿易統計によると、輸出金額は前年比＋19.3%と 10 ヵ月連続のプラス。季調済前月比は＋0.5%と 4 ヵ月連続のプラスとなった**
- **円安による円換算額の押し上げが続くなか、地域別輸出では米国、EU、アジア向けがプラス推移。商品別では半導体等電子部品を含む電気機器のプラス寄与が続く。実勢を示す輸出数量は 4 ヵ月連続プラス**
- **AI 関連需要の拡大が見込まれるなか、輸出の先行きは、当面、半導体等電子部品が牽引する形で堅調に推移すると予想**

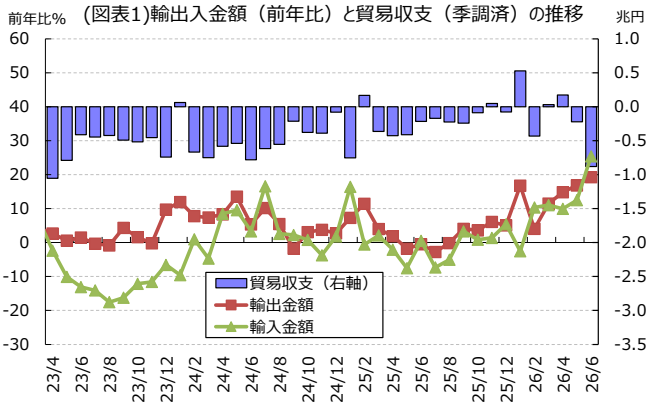
1．季調済輸出金額前月比は 4 ヵ月連続のプラス

財務省から発表された 6 月の貿易統計によると、輸出金額は前年比＋19.3%（5 月：同＋16.8%）と 10 ヵ月連続のプラスとなった（図表 1）。輸入金額は同＋25.4%（同＋12.5%）で 5 ヵ月連続のプラスであった。

4、5 月に大きく落ち込んだ原油及び粗油の輸入[1]は、前年比＋59.3%（数量：同▲13.7%）と急回復した。政府は米国とイランの戦闘開始以降、米国を中心に中東以外からの代替調達を進めており、米国からの輸入は金額ベースで同＋907.4%（数量：同＋459.5%）と 10 倍以上に達する一方、中東からは同＋7.1%（数量：同▲40.6%）と微増にとどまった[2]。原油の輸入単価（1 キロリットル当たり）は同＋84.7%の 11.7 万円（図表 2）と上昇が続いている。代替ルートでの輸送は、従来のルートに比べ輸送日数が延びるほか、輸送費や保険料の値上がりも輸入単価の上昇につながっている。

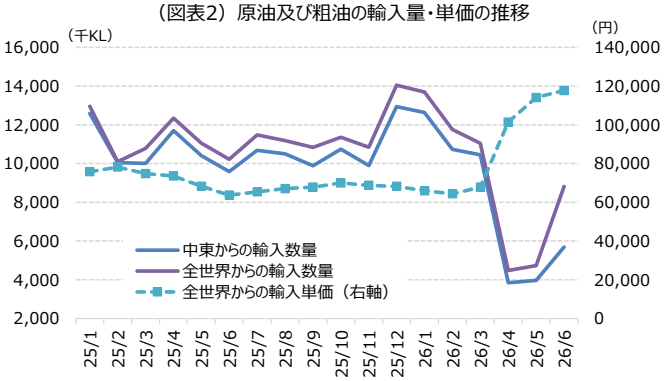
季調済輸出金額は前月比＋0.5%と 4 ヵ月連続のプラ

（図表1)輸出入金額（前年比）と貿易収支（季調済）の推移



（出所）財務省「貿易統計」

（図表2）原油及び粗油の輸入量･単価の推移



（出所）財務省「貿易統計」

[1] 原油及び粗油の輸入金額は 4 月：前年比▲49.9%、5 月：同▲28.5%、輸入数量は 4 月：同▲63.7%、5 月：同▲57.3%

[2] ナフサを含む揮発油も代替調達が進み、米国からの輸入金額は前年比＋370.2%（数量：同＋152.8%）、中東は同▲63.6%（数量：同▲81.4%）

ス、季調済輸入金額は同＋6.6%と 3 ヵ月連続のプラスとなった。季調済貿易収支は▲8,820 億円と 2 ヵ月連続の赤字で、赤字幅も拡大した。

2．EU、アジア向け輸出は前年比 11 ヵ月連続のプラス、米国向けも 4 ヵ月連続のプラス

金額ベースの国（地域）別輸出は、EU 向けが前年比＋20.3%、アジア向けが同＋22.7%とそれぞれ 11 ヵ月連続のプラス、米国向けも同＋13.0%と 4 ヵ月連続のプラスであった（図表 3)。

金額ベースの商品別輸出では、半導体等電子部品を含む電気機器（前年比＋29.4%・寄与度：＋4.7ﾎﾟｲﾝﾄ）が 12 ヵ月連続のプラスとなった（図表 4)。半導体等電子部品はアジア向け（前年比＋57.7%）を中心に堅調な推移が続いている（図表 5)。輸送用機器（前年比＋14.4%・寄与度：＋3.3 ﾎﾟｲﾝﾄ）は、自動車の EU 向け（同＋60.0%)、米国向け（同＋34.5%）がプラスとなった。そのほか、非鉄金属を含む原料別製品（同＋19.9%・同：＋2.1 ﾎﾟｲﾝﾄ)、半導体等製造装置を含む一般機械（同＋10.9%・同：＋2.0 ﾎﾟｲﾝﾄ）がプラスに寄与した。

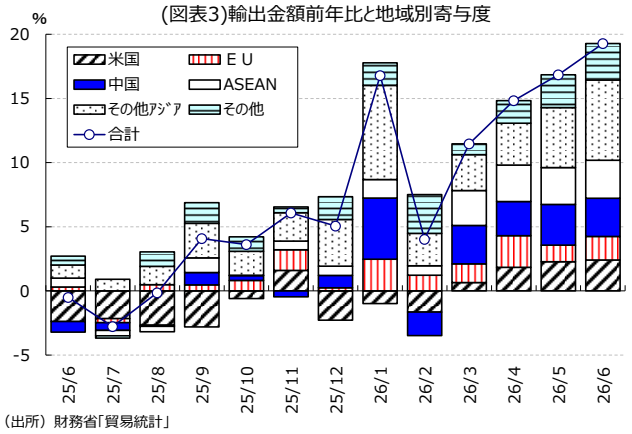
3．実勢を示す輸出数量指数は 4 ヵ月連続のプラス、輸出は先行き堅調に推移すると予想

輸出金額を価格指数と数量指数に分解すると、6 月は価格指数が前年比＋19.0%（5 月：同＋16.4%)、数量指数は同＋0.2%（同＋0.4%）であった（図表 6)。価格指数は 11 ヵ月連続のプラスで、2026 年 6 月の為替レート（税関長公示レートの平均値）は 159.69 円/ﾄﾞﾙと、2025 年 6 月の 144.04 円/ﾄﾞﾙに対し 10.9%の円安であった。円安により円換算金額が押し上げられる構図が続いている一方、輸出の実勢を示す数量指数は小幅ながら 4 ヵ月連続のプラスとなった。

輸出数量指数を相手国・地域別に見ると、米国向けが前年比＋12.2%（5 月：同＋9.0%)、EU 向けが同＋6.2%（同＋0.2%)、アジア向けは同＋0.3%（同＋1.8%)、うち中国向けは同▲11.4%（同▲18.7%）であった（図表 7)。EU 向けは 6 ヵ月連続のプラス、米国、アジア向けは 4 ヵ月連続のプラスとなった。

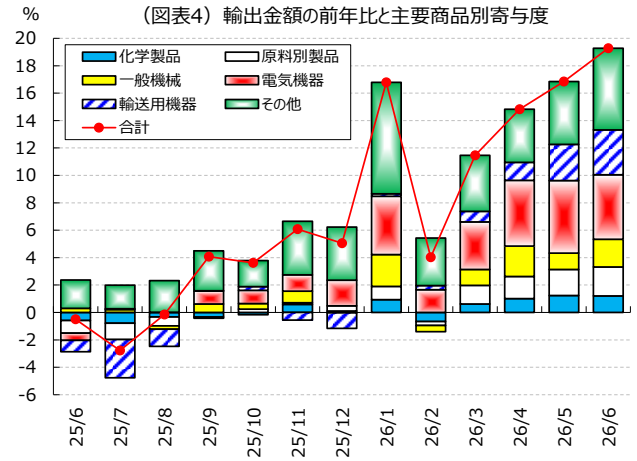
先行きの輸出については、AI 関連需要の拡大が期待できることをふまえると、アジア向けを中心とした半導体

(図表3)輸出金額前年比と地域別寄与度



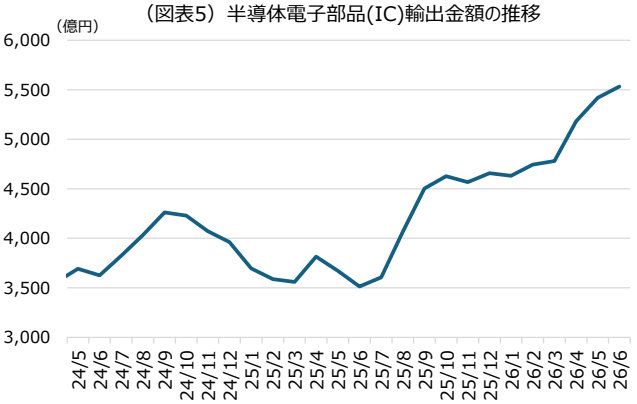
（出所）財務省「貿易統計」

(図表4) 輸出金額の前年比と主要商品別寄与度



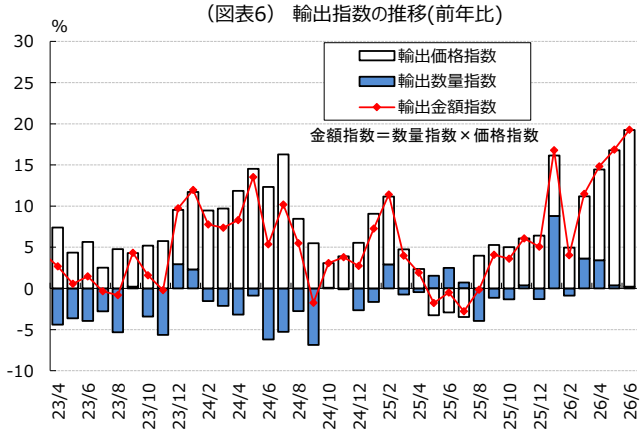
（出所）財務省「貿易統計」

(図表5) 半導体電子部品(IC)輸出金額の推移



（出所）財務省「貿易統計」、3ヵ月後方移動平均

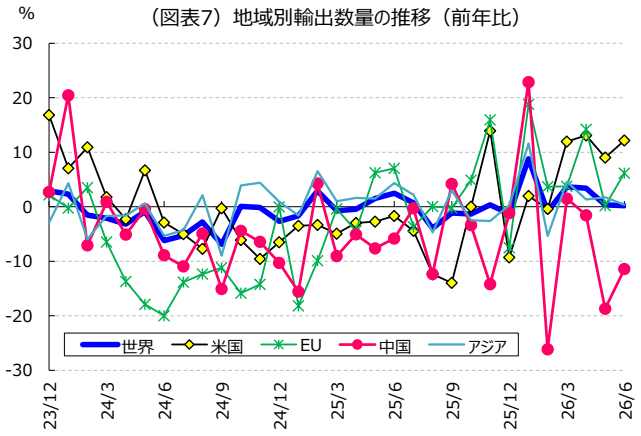
(図表6) 輸出指数の推移(前年比)



（出所）財務省「貿易統計」

等電子部品の好調が継続することが見込まれ（前掲、図表 5)、当面、堅調に推移すると予想する。

（図表7）地域別輸出数量の推移（前年比）



（出所）財務省「貿易統計」

本レポートに関するご取材やお問い合わせは以下までご連絡ください
明治安田総合研究所 主席研究員 藤田 敬史
電話番号：080 2298 8272
e-mail：takafumi.fujita@myri.co.jp

※本レポートは、明治安田総合研究所が情報提供資料として作成したものであり、いかなる契約の締結や解約を目的としたものではありません。掲載内容について細心の注意を払っていますが、これによりその情報に関する信頼性、正確性、完全性などについて保証するものではありません。掲載された情報を用いた結果生じた直接的、間接的トラブルや損失、損害については、一切の責任を負いません。またこれらの情報は、予告なく掲載を変更、中断、中止することがあります。

●発行元● 株式会社 明治安田総合研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北3－2－11 TEL03-6261-6411